

# 脈々と受け継がれる 自然を愛する心

## 富良野大麓 自然愛護少年団



▲活動するときは、おそろいのユニフォームで

**麓** 郷中学校に41年もの間、  
続いている取り組みが  
あります。それは、麓郷地  
域の自然保護活動を行う富  
良野大麓自然愛護少年団  
(鎌田昂希<sup>こうき</sup>団長の取り組み。  
同団は、地域の自然を愛し、  
健全な心身を養うため、昭  
和47年に発足し、以来、麓  
郷街道のごみ拾いや富良野  
岳原始ヶ原の清掃登山など  
を続けています。  
自然愛護少年団の取り組

みは、当時の上川支庁が音頭をとり、大雪山国立公園を取り巻く市町村に声をかけ、発足しました。麓郷のほか上川、東川、美瑛でも活動が行われています。それら少年団が互いに交流する「大雪山十勝岳愛護少年団交歓会」では、レクリエーションや登山清掃を行い、親睦を深めています。44回目となる今年は、麓郷で開催され、原始ヶ原の登山清掃を行うなど交流しました。中学3年で団長の鎌田さんは、「普段何気なく生活している地元で自然に親しみ、自分たちの手でその自然をきれいにする経験は、とても貴重な思い出となります」と活動振り返ります。PTA会長で鎌田団長の親でもある鎌田敏幸さんも元



▲富良野岳原始ヶ原に向かう途中にある「不動の滝」。雄大な自然を肌で体感する

担当の田中貴博<sup>たなか たかひろ</sup>教諭は、「実際に滝を見たり、森に入ったりする中で、自然を大切にすることが育まれていると思います。また、他地域の少年団との交流は、学校の枠を越えた貴重な交流の場。地域の特色をいかした大切な活動なので継続していきたい」と話してくれました。生徒らの自然と故郷を愛する心は、また後世へと受け継がれていきます。

団員。鎌田さんは、「活動から学ぶところは多い。麓郷の子たちは、あいさつが良くて積極性がある。そういうところも育まれているのでは」と話します。また、登山道整備などを行う富良野山岳会の秋葉久司<sup>あきはひさし</sup>会長は、「危険箇所看板を立てたり、登山道の枝払いをしたり、地道な活動を続けてくれている。とても良い取り組みなので継続してほしい」と活動を評価します。



▲他地域の自然愛護少年団員と交流する団員たち